

北海道議会議員
Go forward 北海道
たけだ浩光 道政通信
ひろみつ
所属会派：民主・道民連合
住みやすい『西区』、そして『北海道』をめざします！
発行：たけだ浩光政務事務所 〒063-0811 札幌市西区琴似1条7丁目1-35 ☎011-624-8030 FAX 011-624-8031

決算特別委員会報告（令和3年度分） 11/7~11/11

第3回の道議会閉会后、継続審査に付託された決算特別委員会（令和3年度分）において、7日の道立病院事業、8日の保健福祉部所管、9日の環境生活部所管の各委員会において質疑に立ったので、報告させていただきます。

7日＜道立病院事業＞

＊病院事業会計について、道に対する質問で、過去3年間の純損益が減少したのは、新型コロナウイルス感染症関連補助金により医業外収益が増加したためという認識を確認したが令和4年度については未確定である。

また、補助金は医療従事者への人件費に充てていることから引き続き適切な対応をお願いする。

＊コロナ禍の影響により、各病院での患者数が減少している中、診療単価が増加しているのは職員の頑張った成果と評価されるべきと思う。しかし、根幹は、道立病院へ行く人たちがどうしたら満足してくれるかが大事で、それが地域を支える病院の役割だと思う。そのためにも、減収につながる医師不足による診療機能の低下は避けなければならず、各病院における医療従事者の人材確保をはじめ、様々な対策の強化が重要です。感染拡大時に備えた平時からの取り組みや、財政課題など自信をもって取り組んでいただきたい。

8日＜保健福祉部所管＞新型コロナウイルス感染症対策関係

令和3年度	予算	執行状況
ワクチン個別接種促進事業費	120億	81億
ワクチン職域接種促進事業費	5億	9,364万
ワクチン集団接種促進事業費	21億	16億
PCR等検査無料化推進事業費	216億	13億
保健所体制強化事業費	12億6千万	10億

＊ワクチン接種率もまだまだ低く、まだまだ感染拡大が進んでいることから、拡大防止と社会経済活動の両立のためにも、ワクチン接種の促進やPCR等検査体制の充実に取り組んでいただきたい。あわせて「感染症医療提供体制整備事業」や「医療従事者宿泊支援事業」もしっかり取り組んで欲しい。また、保健所体制の維持もまだまだ必要なことを指摘しておく。

9日＜環境生活部所管＞ヒグマ・エゾシカ対策関係

平成23年度ー77万頭（ピーク）	＊平成27年度～令和3年度の7年間で3,497頭捕獲
平成30年度ー65万頭まで減少	
令和3年度ー69万頭	

＊近年、ヒグマ、エゾシカともに市街地への出没事例が増加している。それぞれの管理計画により生息数の推定や捕獲計画を推進することは重要と認識しているが、それだけで市街地侵入対策を行うのは限界と思う。従前とは異なる行動形態が見られる個体が増えてきた以上、更に踏み込んだ調査が必要と思うことから、今後更に検討していただくことを指摘とした。



決算特別委員会（第1分科会）で副委員長に就任



シリーズ企画第3弾 ④

放射線 知ってる？ 私たちはどれくらい知ってる？

放射線、放射性物質が発見されてから、世界の人々はその有用性に気づき、どんどんと利用を拡大させていきました。放射線発展の歴史は、放射線障害の歴史でもあったのです。

今回は、放射線障害の歴史について紹介していきます。

ラジウム・ガールズと放射線

1898年、キュリー夫人によって発見された放射性物質のラジウムは、1900年代初頭にラジウムを蛍光物質と混ぜることで自己発光するラジウム夜光塗料として使われ始めました。軍用途で開発され、時計の文字盤に塗ることで暗闇でのミッションを成功させることができるというものでした。当時は街頭などもほとんどなく、夜に時計を見ることが容易になるため、一般の腕時計にも広まっていきました。このとき、ダイアルペインターと呼ばれる女工たちが登場し、細かい文字盤にラジウム塗料を塗るために、筆の先を唇で整えて塗っていました。



swissinfo.chより引用

ここまで読めばわかるとおり、ダイアルペインターの女工たちは放射線の内部被ばくをしていたのです。その後、彼女たちに様々な身体的障害が現れます。彼女たちは、原因がラジウム塗料であるとして米国のラジウム会社を訴えますが、ラジウムの「安全神話」に阻まれ、苦勞することになります。事実、当時は少量のラジウムは健康に良いと信じられていていました。ラジウム水は強壯剤として飲まれ、ラジウムの入ったバター、牛乳、歯磨き粉などが売られていました。

しかし、その後研究者や弁護士たちによって、ラジウムと彼女たちの障害の因果関係が証明されていき、ラジウム・ガールズ裁判によって、労働者の命を救うための法規が生まれ、最終的には「労働安全衛生局」の設立につながっていきます。また、X線によって手の骨を見せていた大道芸人たちが、皮膚の炎症や潰瘍を引き起こすといった障害も同時期に現れています。こうしたことから、放射線、放射性物質の人体影響の研究が進み、「国際放射線防護委員会（ICRP）」という国際機関が設立されることになります。

なお、現在の夜光塗料は放射性物質を使用していませんので、ご安心を…しかし、現在の医療における放射線の利用は、こうした悲しい障害の歴史を経て成り立っているのも事実です。彼らのご冥福をお祈りします。

次号に続く…

たけだ浩光プロフィール

【すまい】西区西野（在47年）
1960年 江別市生まれ
その後、すぐ札幌へ
1973年 札幌市立二十四軒小学校 卒業
1976年 札幌市立手稲東中学校 卒業
1979年 北海道立札幌西高等学校 卒業
1980年 北海道大学水産学部 中退
1985年 北海道大学医学部附属
診療放射線技師学校 卒業
1985年 札幌医科大学附属病院勤務
2019年 北海道議会議員 初当選



1930年に作られた腕時計
BuzzFeed Newsより引用

e-mail : info@takeda-hiromitsu.com



たけだ浩光オフィシャルWebサイト

たけだ浩光

検索

オフィシャルWebサイトで道政通信のバックナンバーがご覧になれます



3 ゼロカーボン北海道

北海道は、水素を作り出す能力のある土地と考えている。太陽光や風力、地熱といった再生可能なエネルギーを生み出す。一次産業が盛んな北海道だからこそ、クリーンなエネルギーを進めていくビジョンを打ち出すべき。

4 新型コロナウイルス感染症（ワクチン政策）

新型コロナが流行して3年近く経過したが、現在は中国以外はロックダウンを止め、ウィズコロナへ舵を切っている。

オミクロン株はデルタ株より重篤化率は低いが感染力が強く、結果的に母数が増え重症者数も多くなっている。

いま必要なのは、可能な人はできるだけワクチンを接種し、重篤化をする方を減らすことで、病床使用率を下げ、医療逼迫を回避すること。接種率の低い若者に向け、国や知事が説得力のあるメッセージを出す必要があるが、できていない。道議会でも対応を求めてきたところ。

5 放射線・医療・原子炉

・核ごみについて、知事は「核抜き条例の趣旨を踏まえ、現時点では反対する」という消極的な対応をしており、「現時点」という言葉は今も用いられているのは不満である。

・岸田内閣は、歴代政権の脱原発方針を転換し、カーボンニュートラルには原発建設が必要とし、小型原子炉の建設を目論んでいる。政府に対し間違っていると主張していく必要がある。

・放射線や発電用原子炉への負のイメージは根強いが、一方

で医療用原子炉は必要だと考える。例えば、核医学検査で使用するテクネチウムの原材料「モリブデン」の生成には原子炉が必要である。現在、100%輸入のため、リスク分散のためにも国内で生産するメリットは大きい。また、廃炉にも高い技術が必要であるため、原子炉新設ではなく医療用原子炉や廃炉を担う技術者の育成を進めるべき。

6 ヒグマについて



赤松、エゾ松といったヒグマの餌（どんぐり等）を生産しない品種を植林した単一林のため、餌を求めて人里に降りてきている。解決に向け取り組みを進めている。人が、もともとヒグマの領域に入り込んだ結果なのかも。解決に向け、現在取り組みを進めているところ。

以上

一言ご挨拶

この度は、多くの皆様にご来席いただき、ありがとうございました。時間の都合上、皆様との対話的な時間が取れなくて、誠に申し訳なく残念に思っております。なかなか新型コロナウイルス感染が収まらず、不自由をおかけした中での開催となり、重ねてお詫び申し上げます。私も早く以前のような自由な環境での開催ができることを望んでおります。次回は、もっと皆様に興味を持って、楽しんでいただけるよう工夫をしていきたいと思っておりますので、これからもよろしくお願いいたします。



「たけだ浩光道政報告会」

と き：2022年11月20日（日） 14：00～
と ころ：札幌市西区八軒会館 1階ホール

久しぶりに、武田事務所主催のもと「たけだ浩光道政報告会」を開催することができました。コロナ禍での開催とはいえ、ご来賓をはじめ、予想を上回る多くの参加者へ、心からお礼申し上げます。検温・手指消毒・マスク着用や椅子間隔や定員数半分の確保や常時窓開き状態を保つなど、感染対策には細心の注意を払いました。お陰様で、15時半頃に無事終了することができました。関わっていただいた皆様へ感謝申し上げます。

を開催しました!!



武田道議の道政報告



道下衆議院議員



大築衆議院議員



全道庁労連蒲池委員長



勝部参議院議員



大島市議会議員



中村市議会議員

ご来賓の皆様 ありがとうございました!

報告課題

- | | |
|--------------|------------------------|
| 1 鈴木知事と国葬儀 | 2 マイナンバーカード、免許証、保険証 |
| 3 ゼロカーボン北海道 | 4 新型コロナウイルス感染症（ワクチン政策） |
| 5 放射線・医療・原子炉 | 6 ヒグマについて |

1 鈴木知事と国葬儀

国葬と道議会日程が被っていたにもかかわらず、自民党側が忖度により道議会を休会させた。招待状が届いたことと結果として出席可能を理由に参加表明。

本来であれば、鈴木知事から道議会へ正式に依頼すべきであり、知事としての主体性が感じられない。

2 マイナンバーカード、免許証、保険証

マイナンバーの作成は任意だが、既成事実的に運転免許証や保険証が一体化されていく。あらゆる情報がマイナンバーに集約され、セキュリティが守られるのか。国民は情報漏洩を恐れている。